

確定拠出年金について

「確定拠出年金」という制度を知っていますか？老後の資産形成を目的として、公的年金に上乗せして給付を受ける私的年金のひとつです。絶大な節税メリットがあり、所得税・住民税を大きく減税することも可能です。平成29年1月から、公務員や第3号被保険者なども加入できるようになり対象者が大幅に拡充したことをうけて、（Individual-Type Defined Contribution）「iDeCo」（イデコ）という愛称になりました。確定拠出年金は、掛け金の上限が決まっており、公務員の場合は、月々12,000円と定められています。

《 加入の手続き 》

個人型の確定拠出年金は任意の契約となるため、自分で管理運営機関《取扱金融機関》を選び契約する必要があります。主に銀行・信用金庫・証券会社・保険会社などがあります。

※《運営管理機関に支払うコスト》《投資信託の運営管理費用（信託報酬）の商品コスト》など前もって比較するほうが良いでしょう。

《 メリット 》

- 税制優遇
掛け金全額が所得控除、運用中の儲けは非課税、年金受給時には公的年金控除あるいは退職所得控除で課税を押し下げられるなど。
- 投資商品のコスト
運用商品は、銀行預金・保険商品・投資信託などがあります。投資信託については、確定拠出年金以外で購入するよりコストの安いものもあるようです
- 受け取りは原則60歳からですが、それ以降であれば、受け取りの時期や一時金でもらうか分割にするか選ぶことができます。

《 デメリット 》

- 資金の引き出し
確定拠出年金の掛け金は、60歳まで引き出すことが出来ません。
- 年金受給額が不確定
自分の運用成果次第で受給額が変わるようです。
- 手数料の発生
毎月、国民基金連合、事務委託機関、運営管理機関、などに手数料を払う必要があります。

ペットボトルゴミの分別方法の一部改について

キャップを外します
(プラスチック類へ)

ラベルをはがします
(プラスチック類へ)

中を軽くすすいでください
(ペットボトルゴミへ)